

○熊本地震に伴う熊本大学への支援状況1

期日	支援先	支援内容	対応・協力
H28.4.16	①大学本部(避難者等用) ②附属病院(患者等用)	・毛布(200枚) ・エマージェンシーブランケット(1,000枚) ・非常食(2,570食) ・飲料水(4,650ℓ) ・飲料水(2,090ℓ)	・九州大学 ・大学生協 ・竹中工務店 ・博運社 (トラック協会)
H28.4.17	③大学本部 ※必要に応じ各所に配布	・非常食(1,510食) ・飲料水(1,500ℓ) ・エマージェンシーブランケット(1,000枚)	・九州大学 ・大学生協
H28.4.18	④附属病院	・非常食(1,200食+軽食2,000食) ・患者用非常食(4,260食) ・患者用非常食(1,800食) ・飲料水(1,200ℓ)	・九州大学 ・佐賀大学
H28.4.19	⑤大学本部 ⑥附属病院	・全身清拭タオル等(10,000人分) ・非常食(2,200食)+紙コップ(2,200個) ・飲料水(4,200ℓ) ・飲料水(1,200ℓ)+軽食960食 ・非常食(1,710食)+紙食器(6,000人分) ・飲料水(3,600ℓ) ・非常食(1,500食)、飲料水(490ℓ)	・九州大学 ・宮崎大学 ・九工大学 ・鹿児島大学 ・山口大学 ・佐賀大学 ・長崎大学
H28.4.20	⑦大学本部 ⑧附属病院	・非常食(7,520食)、飲料水(2,800ℓ) ・非常食(1,100食)、飲料水(6,900ℓ)	・山梨大学 ・宮崎大学

○熊本地震に伴う熊本大学への支援状況2

大 学 名	患者受入	備 考
九州大学	7人	
佐賀大学	25人	
長崎大学	1人	
大分大学	6人	由布市から患者数
宮崎大学	9人	
鹿児島大学	1人	
計	49人	(熊本:43人、大分:6人)

※DMAT隊は、4月14日以降全ての大学病院からほぼ毎日出動

○熊本地震に対する取組・支援状況3

期日	対応内容
H28.4.15	・学生及び教職員へ安否確認の一斉メールを送信
H28.4.16	・学内ポータルサイトから、安否確認及び履修上の配慮等が必要な状況報告等について連絡 ・JASSO緊急奨学金等に関する情報提供を開始
H28.4.19	・被災学生等の授業料徴収猶予の取り扱いを決定、大学HPで周知

研究院等名	取り組みの概要
工学研究院 人間環境学研究院 決断科学センター*	・熊本市や益城町、西原村等の現地調査を実施
法学研究院	・法科大学院修了生の一時受入 ・福岡へ避難している学生への学習環境の提供 ・被災地における司法試験受験者への配慮を法務大臣に要望
学生	・募金活動を展開
施設部	・熊本高専へ文教施設応急危険度判定士派遣

* 持続可能な社会のための決断科学センター

○継続的な支援を行うために

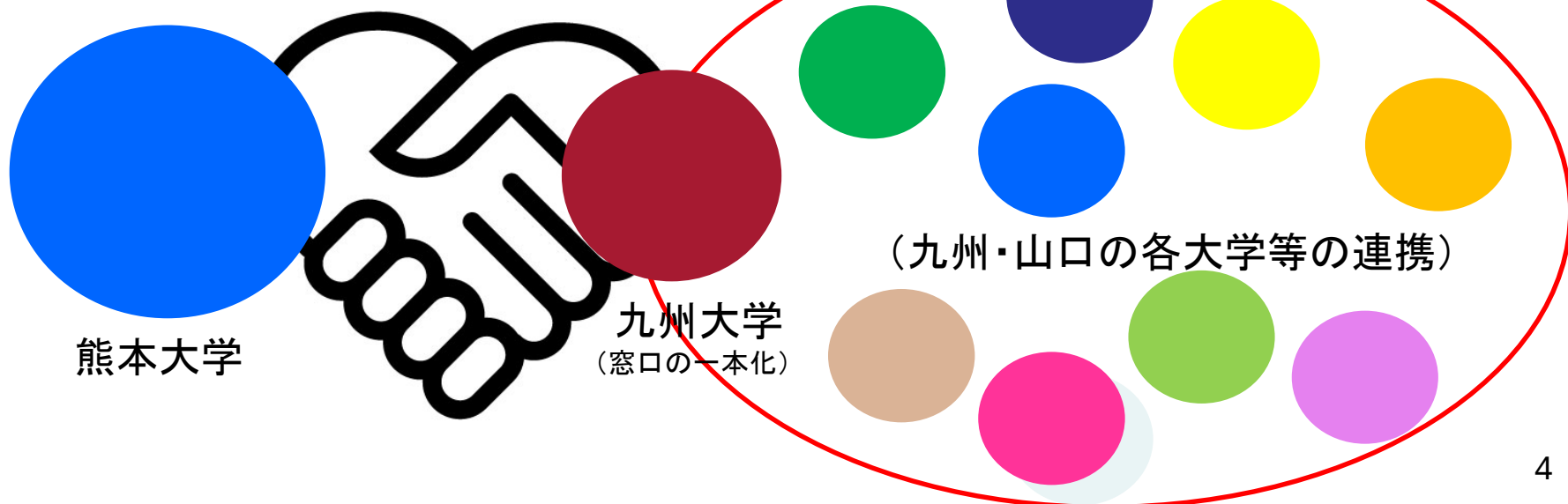
- ① 九州大学の非常時備蓄品のみでは、継続的な支援が困難
- ② 避難のステージの変化とともに、大学と被災者のニーズも変化

九州・山口の各大学等が連携協力した支援が必要

◇久保総長の指示を受けて各大学に働きかけ

◇窓口一本化: 九州大学が熊本大学のニーズを取りまとめ、各大学の支援
内容を調整

◇支援物品等の搬入: 各大学が熊本大学に移送



熊本大学支援連絡会の設置

（目的）

多くの被災者を受け入れている熊本大学・同附属病院を支援するため、熊本大学支援連絡会を設置し、九州・山口の各大学等が連携協力することにより、より効率的・効果的な支援を行う。

（構成）

- 座 長 久保九州大学総長
- 構成員 櫻井福岡教育大学長、尾家九州工業大学長、宮崎佐賀大学長
片峰長崎大学長、北野大分大学長、池之上宮崎大学長
前田鹿児島大学長、福永鹿屋体育大学長、大城琉球大学長
岡山口大学長

（支援WG）

熊本大学への支援を円滑に行うため、連絡会の下に「熊本大学支援ワーキンググループ」を設置する。

熊本大学との窓口を九州大学に一本化し、支援の円滑化を図る。

（事務局）

九州大学熊本大学支援チーム

隊長：玉上九州大学事務局長